

TEE 絵本読み語りタイ (広島国際大学)

平成
24年度

◎チーム紹介

「TEE 絵本読み語りタイ」は、広島国際大学の学生 10 名からなるチームです。活動内容は、英会話と英語の絵本の読み聞かせです。子どもたちと英語をともに楽しみ、学ぶことを通じてコミュニケーション力や心身の向上を図るとともに地域貢献も目指しています。皆さん、放課後子ども教室で英会話と絵本の読み聞かせを楽しみましょう。

◎活動の様子

活動教室：八重東放課後子ども教室（北広島町）

日 時：平成 24 年 8 月 22 日（水）13：30～16：00

場 所：千代田中央公民館

参加人数：7 名（大学生ボランティア）、26 名（子ども）



大学生の英語による自己紹介から活動がはじまりました。英語の歌にあわせて「head(頭)」「eye(目)」「ear(耳)」などの体の部分を英語で言いながら自分の体の部分を手で押さえていきました。英語の絵本「Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?」の読み聞かせでは、大学生のメンバー全員がピクチャーカードを使って上手に英語で登場人物を紹介していきました。子どもたちは、楽しみながら英語に触れることができました。



英語の絵本の読み聞かせの後は、ぬり絵の活動を行いました。大学生が、動物の名前や体の部分、そして色などを英語でしゃべり、それを聞いた子どもたちが、ぬり絵用紙に色鉛筆を使って色を塗っていました。子どもたちは、英語を聞いてぬり絵をする体験を通して、英語に親しむ活動を行うことができました。

○大学生の皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

- ・ 徐々に子どもたちとの距離が縮まり、自分たちの活動に積極的に参加してくれて、英語になじんでくれたので満足できる活動になりました。
- ・ メンバーのみんなは実習等で忙しいのですが、子どもたちと接する機会を頂けるのがうれしいので、時間がある限りこの活動をやりたいです。

○市町スタッフの皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

- ・ 初めは、おとなしかった子どもたちですが、盛り上げ方が上手で次第に一緒に歌ったり踊ったりしていました。念入りに準備されていて、初対面の子どもたちに、明るく、積極的に接してくれ、楽しい時間が持てました。
- ・ 学生さんたちのパワーは、子どもたちはもちろんのこと、大人（職員）も元気にさせてくれます。子どもたちと年齢が近いというのが一番の強みですね。

広国 TEE 絵本読み語りタイ (広島国際大学)

平成
23 年度

◎チーム紹介

「広国 TEE 絵本読み語りタイ」は、広島国際大学の9名からなるチームです。活動内容は、英会話と英語の絵本の読み聞かせです。子どもたちと英語をともに楽しみ、学ぶことを通じてコミュニケーション力や心身の向上を図るとともに地域貢献も目指しています。皆さん、放課後子ども教室で英会話と英語の絵本の読み聞かせを楽しみましょう。

◎活動の様子

活動教室：府中町府中小学校放課後子ども教室

日 時：平成 24 年 2 月 29 日 (土) 15:10~16:20

場 所：府中公民館

参加人数：6名 (大学生ボランティア), 10名 (子ども)



大学生の英語による自己紹介から活動が始まりました。はじめのうちは、大学生と子どもたちは緊張した様子でしたが活動が進むにつれだんだんと笑顔が増えていきました。英語の絵本「Who stole the cookie?」の読み聞かせでは、大学生のメンバーが全員でピクチャーカードを使って上手に英語で登場人物を紹介していきました。



英語の絵本の読み聞かせの後には、英語の歌にあわせて「head (頭)」「eye (目)」「ear (耳)」などの体の部分を英語で言いながら自分の体の部分を手で押さえていきました。そして、英語の歌「London Bridge Is Falling Down」を歌いながら楽しく体を動かして活動をしていました。

○学生の皆さんからの声 (インタビュー, アンケートより)

小学生の子どもたちと英語を通して触れ合うのがはじめてだったので、はじめはどのような不安だったけど、子どもたちがみんな楽しんでくれてとても嬉しかった。小学生の子どもたちと英語を通して触れ合うことはとても楽しい活動だと思いました。これからも、一人でも多くの子どもたちと英語を通して楽しみたいと思います。

○市町スタッフの皆さんからの声 (インタビュー, アンケートより)

今回の活動は、英語による絵本の読み聞かせだけではなく体を動かすプログラムがあったので、1年生から6年生までの学年や英語の経験の差を克服できるように工夫されていたので素晴らしかった。教室を見学されていた保護者からは、「子どもたちが大学生とのふれあいはじめて経験することができて貴重な体験になってよかった」や「普段とは子どもの目が違う」などの声もいただきました。